

第3回 CINEX 映画塾

いまショートフィルムが熱い! 岐阜県出身俳優出演作 一挙上映★トークショー

日時 5/14(土)・15(日) 全席自由 (当日券のみ販売)

ゲスト 尾関伸嗣、桜木梨奈、佐藤睦、進藤文広監督
会場 岐阜CINEX 岐阜市日ノ出町2-20(柳ヶ瀬・高島屋前)

『ASO』上映	15:00~15:30	『ヴァージンロード』上映	16:30~17:00
『鼻歌』上映	15:30~15:41	『俺の屍を越えてゆけ』上映	17:00~17:40
トークショー	15:45~16:15	『敏感に喜ぶ』上映	17:40~18:16
【登壇者】尾関伸嗣、桜木梨奈、佐藤睦 (予定)		トークショー	18:20~19:00
		【登壇者】尾関伸嗣、桜木梨奈、佐藤睦、進藤文広監督 (予定)	

※登壇者は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

俳優 尾関伸嗣 (おせき・しんじ) 1980年、土岐市生まれ。映画やドラマ・CMなど幅広いジャンルで活躍中。映画『鼻歌』では主人公・小津を好演した。

女優 桜木梨奈 (さくらぎ・りな) 1990年、岐阜市生まれ。2012年映画『耳をかく』で主演デビュー。以降、映画を中心に活躍中。

女優 佐藤睦 (さとう・むつみ) 1990年、各務原市生まれ。映画や舞台・CMなど幅広いジャンルで活躍中。6/22(水)から池袋シアターグリーンで公演の舞台『Let's play a GAME』に出演予定

映画監督 進藤文広 (しんどう・たけひろ) 1984年生まれ、東京都出身。中学時代から映画を観るようになり、映画監督を志す。2006年、日本映画学校卒業。フリーランスの助監督として青山真治、緒方明、深川栄洋との作品に参加。今回が初の監督作品。

全国初公開! 鼻歌 尾関伸嗣、桜木梨奈、水野直、針原滋 ほか 第69回カンヌ国際映画祭 短編部門公式上映!

ヴァージンロード (Father,より) 桜木梨奈、松田ジロウ、今吉祥子、針原滋 ほか 監督:市原直

俺の屍を越えてゆけ (Father,より) 尾関伸嗣、水野直、黒田福美、植田ゆう希 ほか 監督:杉山薫一

ASO 内村蓮、佐藤睦、湯川佳小里 ほか 監督:若永洋

全国初公開! 敏感に喜ぶ 川村亮介、坂田梨香子、佐藤睦 ほか 監督:進藤文広

いずれの作品も5/14(土)、15(日)限定上映です。

第4回 CINEX 映画塾

映画『あかね雲』『瀬戸内少年野球団』上映記念 篠田正浩監督トークショー

日時 5/28(土) 全席指定 (入替制)

第1部 『あかね雲』上映 14:00~15:50
トークショー 16:00~16:45

第2部 トークショー 17:15~18:00
『瀬戸内少年野球団』上映 18:10~20:40

※時間は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ゲスト 篠田正浩監督、立花珠樹
会場 岐阜CINEX 岐阜市日ノ出町2-20(柳ヶ瀬・高島屋前)
定員 各回290名 料金 1,500円(税込)

映画監督 篠田正浩 (しのだ・まさひろ) 1931年、岐阜市生まれ。県立加納高等学校卒業後、早稲田大学に入学。53年松竹映画所に入社し、60年代の中期から『監督デビュー』大島渚、吉田重隆と共に、『松竹スーパースター』として前衛的な作品を発表し始める。松竹を退社後は、妻の若下志麻と共に独立制作会社を設立し自主制作を始める。2003年『スイ・ソルゲ』を最後に監督業を引退。主な作品に『心中天竺鼠』『キネマ旬報ベストテン 日本映画第1位』、『はなれ野女おれん』(第1回日本アカデミー賞 優秀作品賞)『少年時代』(第14回日本アカデミー賞 最優秀作品賞)など。

共同通信社編集委員 立花珠樹 (たちばな・たまき) 1949年、福岡県北九州市生まれ。一橋大卒。74年共同通信社に入社。ニューヨーク支局、文化部などで映画を担当する。篠田正浩さんをはじめ若下志麻さん、三浦達也さん、若尾文子さん、香川京子さん、新藤兼人さんら映画人のロングインタビューや、名画の新しい見方を紹介する映画コラムなどを執筆。当誌で『あのころ、映画があつた』一必読の邦画名作選を連載。著書に『若尾文子 宿命の女』(なればこそ)、『ワイス出版』、『若下志麻という人生』(共同通信社)、『新藤兼人 私の本』(同)、『女と男の名作シネマ』(喜視会)、『あのころ』の日本映画がみたい!! (彰文社)など。

岐阜CINEX劇場窓口で座席指定券販売中!

あかね雲 水上勉の同名小説を、『湖の琴』の鈴木尚之が脚色し、『処刑の島』の篠田正浩が監督した文芸もので、独立プロ表現社の第一回作品。撮影は『恋のメキシカンロック 恋と夢と冒険』の小杉正雄。キネマ旬報社運営のWEBサービス(KINENOTE)より

岩下志麻、山崎努、佐藤慶、小川真由美 ほか 監督:篠田正浩 配給:松竹

ロイヤル劇場での上映期間 5/29(日)▶6/3(金) ※ロイヤル劇場での入場料金は500円(税込)です。

瀬戸内少年野球団 敗戦直後の淡路島を舞台に、野球を通して子供たちに民主主義を学ばせようとする女教師と、スポーツに目覚めていく子供たちの絆を描く。原作は阿久悠の同名小説で昭和54年度下半期の画木賞候補作品。脚本は『夜叉ヶ池』の田村孟、監督は『悪魔島』の篠田正浩、撮影も同作の宮川一夫がそれぞれ担当。キネマ旬報社運営のWEBサービス(KINENOTE)より

夏目雅子、郷ひろみ、佐倉しおり、渡辺謙 ほか 監督:篠田正浩 配給:アスミック・エース スクリーンデビュー!

ロイヤル劇場での上映期間 6/4(土)▶10(金) ※ロイヤル劇場での入場料金は500円(税込)です。

3 キャロル 5/14(土)▶6/3(金) 3週間 限定上映

POINT 数少ない上質なアメリカ映画の登場。2人のファンタジーとともに、50年代ニューヨークの雰囲気にとどろき渡ってください。

あなたはすぐに私の視線に気づいた—— 映画史に記憶される出会いの瞬間。心揺さぶる愛の佳作。

1952年ニューヨーク、マンハッタンにある高級百貨店フランケンバーグのおもちゃ売り場でアルバイトとして働く若きテレーズ・ベリバット。フォトグラファーに憧れてカメラを持ち歩き、恋人のリチャードから結婚を迫られているが、それでも充実感を得られず何となく毎日を送っていた。そんなある日、おもちゃ売り場にキャロル・エアードが6歳の娘リンディへのクリスマスプレゼントを探しに訪れた。テレーズはエレガントで美しく魅力的なキャロルから目を離すことができなかった。キャロルもその視線に気づいた。そのままキャロルの対応をするテレーズはプレゼントと一緒に選んだが、その際キャロルが手袋を忘れていってしまう。テレーズはすぐに手袋を自宅へと郵送した。するとキャロルから百貨店に電話がかかってくる。御礼にとランチに誘われたテレーズは、翌日、キャロルに指定されたレストランで初めて話をし向きあう。

ケイト・ブランシェット、ルーニー・マラ ほか 監督:トッド・ヘインズ 配給:ファントム・フィルム

4 クーパー家の晩餐会 5/21(土)▶6/3(金)

POINT クリスマスイブに臨むそれぞれの想いがドラマに集約される。ハッピーエンドあり、ありのストーリーに貴方も思い当たるはず。

クーパー一家がクリスマスの晩餐会に持ち寄ったのは、色とりどりの嘘。最悪の晩餐会、最高に美味しい結末とは——?

1年に1度、クリスマスに集まるクーパー一家。幸せな休日、皆が見せる満面の笑み——だが、彼らは笑顔の下にそれぞれの秘密を抱いていた。この日を最後に離婚することを思っている父と母、不倫の恋を隠すために空港で出会った男を恋人に見立てて同伴する娘、失業を言い出せない息子、クリスマスプレゼントを芳気しに盗み去ってしまう叔母、お気に入りのウェイトレスが辞めると聞き彼女のごとで頭がいっぱいの祖父……クーパー一家秘伝のレシピによるごちそうが並び、いよいよ晩餐会の幕が開けるが、予期せぬハッピーングからみんなの嘘が次々とバレていく。果たして、最悪のディナーの結末は——?

ダイアン・キートン、ジョン・グッドマン、アマンド・セイフライド ほか 監督:ジェシー・ネルソン 配給:ギャガ

5 孤独のススめ 5/21(土)▶6/3(金)

POINT 絶妙な味わいのオランダ映画。人生の示唆に富んだ『This is My Life』を原案に唯だるとか微笑むか? (This is My Life)を聴くだけで価値ある作品です。

心のままに生きることは難しい、でも大切なものに気付かない人生はどわびしいものはない。すべてをなくした男が何も持たない男から学んだ幸せとは——?

妻に先立たれ、単車で振り子のような毎日を一人静かに生きる初老の男フレッド。信仰篤いオランダの田舎で、毎週日曜日の礼拝以外は周囲との付き合いを避けて、ひっそりと生活をしているある日、突然言葉も過去も持たない男子が現れ、なぜかフレッドの家に居ついてしまう。やむなく始まった奇妙な共同生活だったが、そこには奇妙な友情が芽生え、次第にフレッドに縛られたフレッドの日常が鮮やかに色づいていくのだが、保守的な田舎町に住む近隣は、彼らのことを問題視し、村から追い出そうとして……

トーン・カス、ルネ・ファン・ト・ホフ ほか 監督:脚本:ディー・デリック・エンゲル 配給:アルトロス・フィルム

1 シェーン デジタルリマスター版 5/7(土)▶20(金)

POINT 往年の名作を上回る岐阜新聞 映画部 初の試み。貴方の記憶よりも楽しく読んだ「通かなる山の呼び声」をぜひ劇場で!

西部開拓時代の終焉に芽生えた、かすかな慕情。ひとときの安らぎの中、時代に取り残された男の決断とは?

南北戦争後の西部。厳しい大自然と、土着の悪徳牧場主ライカーとの戦いに苦しむ開拓民のリーダー、ジョーの一家のもとに現れた一人の流れるジョー。ジョーと妻のマリアンは当初ジョーを警戒していたが、ライカー一味の嫌がらせにあっていたジョー(ジョーが加勢したことから、彼らの家に留まることになった。一方、開拓以前からの利権を譲れぬライカーは、殺し屋ウィルソンを雇い、彼らの仲間一人を見せしめに殺し去る。開拓民グループの結束が揺らぎ、頭を悩ますジョーのもとに、ライカーから最後の話し合いの誘いが届く。しかし、裏を察知したジョーは、ジョーを力づくで制止して、再発を取り、ライカー一味が待ち構える最後の闘いに臨む。

アララン・ラッド、ジーン・アーサー、ヴァン・ヘフリン ほか 製作・監督:ジョージ・スティーヴンス 配給:東北新社

2 さざなみ 5/14(土)▶27(金)

POINT 今月イチオシの傑作セリフ、表情すべてが熟成した大人の映画です。まぼろしと双壁のシャーロット・ランプリングの代表作誕生。

夫は過去の想いに酔いしれ、妻の心は感情の揺さぶりに、より、さいなまれていく—— 本年度アカデミー賞、主演女優賞ノミネート!

土曜日に結婚45周年の記念パーティーを控えるジェフとケイト。しかし、月曜日にある手紙が届いたことで、彼らの土曜日までの6日間は、45年の関係を大きく揺るがしている。山岳事故で死んでしまった夫のかつての恋人のゆるぎない存在が、突如として夫婦の関係に入り込んできたとき、夫は過去の恋愛の記憶を日ごとに蘇らせ、妻は存在しない女への嫉妬心を夜ごと重ねていく。それはやがて夫へのぬぐいきれない不信感へと肥大していくのだった……。夫婦が重ねた45年とはいったい何だったのか?長い年月は互いの不信や嫉妬の感情を乗り越えることはできないのか?

シャーロット・ランプリング、トム・コートネイ 監督:アンリク・ヘイ 配給:彩プロ

6 ビューティー・インサイド 5/28(土)▶6/10(金)

POINT 韓国が生んだファンタジーロマンス。『自覚めたるびに姿が変わる』という設定だけでも必見の価値あり。

目覚めるたびに姿が変わってしまう僕が、ひとりの女性を愛してしまっ——。見た目と中身、本当に大切なのは……

家具デザイナーのウジンには18歳のときから目覚める心以外の姿、性別、国籍などのすべてが変わるようになってしまった。男女、老人、子ども、外国人……。人に会う仕事ができないため、才能とインターネットを活かして活躍している。そんな彼の“病”を知っているのは母と親友だけ。ある日、アンティーク家具展で働く美しいイソに出会い、一目で恋に落ちしてしまう。彼女に会いたい一心で、毎日初めてきた客のようにお店に通う日々。彼女に告白する「見た目」になるのを待って、ついにデートに誘い、ふたりにロマンチックな3日間を過ごす。しかし、同じ姿であるために3日間徹夜のウジンは、うっかり電車で寝てしまふ起きると全く別の顔に……

ハン・ヒョジュ、パク・ソジョン、上野樹里 ほか 監督:ペク 配給:ギャガ・プラス

岐阜新聞創刊135年企画 岐阜新聞映画部

映画みんし倶楽部 5月の活動

ゴールデンウィーク真っ只中ですが、いかがお過ごしですか? あまり遠出しない人も、特に予定が決まっていない人も、映画に入り浸るチャンスですよ! 現在上映中の作品はもちろん、ゴールデンウィーク明けも良質な作品を用意してお待ちします。

【協賛】大和証券 【協力】キネマ旬報社
【企画・制作】岐阜新聞社広告局

損妻郡大野町出身 菊池亜希子さんが映画部に仲間入り!

女優・モデルとして幅広く活躍中の菊池亜希子さん。映画部員として、映画みんし倶楽部の作品からお気に入りの1本を紹介いたします!

今回のオススメ作品は『さざなみ』です。

じわじわと、音もたてずに静かにケイトの表情を、始めから終わりまで息を殺しながら見つめたい。目に見えない過去に隠れたって何を生み出さないの。たった今、目の前にいる人の顔をきちんと見て、新たな過去を乗り越えていくことしか、できないのだから。

7 光りの墓 5/28(土)▶6/10(金)

POINT 韓国が生んだファンタジーロマンス。『自覚めたるびに姿が変わる』という設定だけでも必見の価値あり。

かつて学校だった仮設病院で原因不明の“眼閉病”にかかった男たちが眠っている。幾重にも重なる土地の記憶と愛の記憶。

タイ 英会話、アビチャック・ウィーラセタン監督作品を後援。映画部員として、『ファミおじさんの島』(2010)でカンヌ映画祭パルム・ドール(最高賞)を獲得した世界観に大注目!

ジェンジャー・ボンパット・ワイドナー、バンロップ・ロームノイ、ジャリン・パッタラール・アラム ほか 製作・脚本・監督:アビチャック・ウィーラセタン 配給:嵐川・ムウイオウ

タイ イギリス フランス ドイツ マレーシア